

構成吟「安藤耕齋一代記」ご案内

秋も深まって参りましたが、皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。
皆様は郷土の大芸術家「安藤耕齋」をご存知でしょうか？「社古地」と言う屋号の七区の家に生まれた人物で、川路村村長、川路郵便局局長を務めた方ですが、50歳の時、富岡鉄齋に師事し、南画家となり大成した方です。今年に耕齋生誕160年を迎えます。二区の関島雅直さんが南信州新聞に「安藤耕齋生誕160年に寄せて」と題し、詳しく紹介して頂いております。そこで、七区出身の講談作家牧内雪彦さんが書かれた「安藤耕齋一代記」を信州飯田岳風会川路支部が川路文化祭用にアレンジし、来る11月28日の川路文化祭で構成吟として発表することになりました。安藤耕齋ご自身の作の金婚を祝う漢詩の朗吟や、書道吟等なかなかご覧頂ける機会の無い構成吟です。日本中に名の知れ渡った郷土の芸術家を知って頂く機会でもありますので、添付の台本をご覧頂き、当日文化祭の下記芸能発表会で是非ご覧頂きたく、ご案内申し上げます。

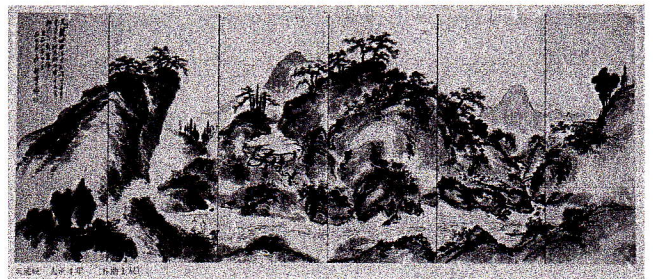
記

芸能発表会 9時30分開始

信州飯田岳風会川路支部構成吟

「安藤耕齋一代記」10時55分頃予定

以上



安藤耕齋作「天龍峽」大正4年製作

追伸 信州飯田岳風会川路支部は現在会員15名で活動をしております。

4つのグループに分かれ、週1回2時間ほど練習をしております。

第2教場 毎週水曜日 川路公民館 19時から21時

第6教場 毎週水曜日 6区集会所 10時から12時

第7教場 毎週木曜日 川路公民館 19時から21時

第8教場 毎週水曜日 7区龍峽会館 16時から18時

詩吟は腹式呼吸で声を出しますが、健康に良いと言われております。

俳句・短歌・漢詩を味わいながら一緒に吟じてみませんか？

詩吟に興味のある方は支部長矢澤（携帯：090-6522-9195）までご連絡下さい。

お待ちしております。

令和3年度 川路地区文化祭に出演！

飯田カネト合唱団

11月28日（日）12時15分頃から、川路小学校体育館にて公演を行います。一人でも多くの皆様に、地元の歴史を知っていただきたいと思います。ぜひお越しく下さい！

飯田線開通工事に命をかけたアイヌ人、川村カネトさんの物語



川村カネトさんはアイヌ人です。

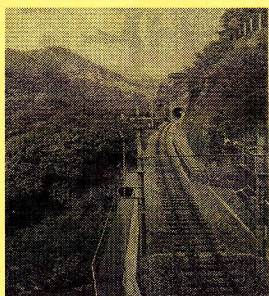
飯田線は、豊橋～三河川合そして辰野～天竜峡が開通してから10年後、最後の三河川合～天竜峡間の67Kmが開通し、全線開通となりました。

なぜ、この区間は開通が10年も遅れたのでしょうか？この区間は、山や崖が天竜川に切立ち、木も多く見通しのきかない危険な区間です。

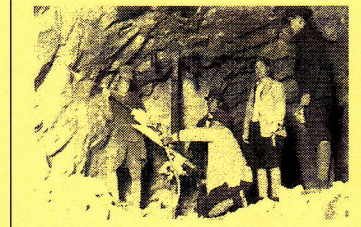
当時の日本では、そのような場所を測量すると手を挙げる技師はいませんでした。北海道での鉄道測量で実績を上げているとの評判を聞いた三信鉄道は、アイヌ人のカネトさんの腕を見込んで測量を依頼したのです。カネトさんが34歳のときです。依頼を引き受けたカネトさんは、昭和3年に家族・仲間と天竜峡に降り立ちます。

野猿・猪・マムシ・蜂の集団に悩まされながら、そして、アイヌ人だという事で「アイヌ、アイヌ」と馬鹿にされ、差別されながらもなんとか測量を成し遂げました。終わったぞ！帰れるぞ！喜んだのもつかの間、今度は工事の現場監督を頼まれます。疲れ果て、差別されていたカネトさんは迷った結果、現場監督の仕事を引き受けますが、このことがカネトさんの命に危険を及ぼすことになります。

天竜峡トンネルで工事中、湧水があり落盤事故がありました。務所帰りの人夫たちに「アイヌ人なんかにこき使われるのはまっぴらだ！」と穴の中に生き埋めにされます。一命をとりとめた後も黙々と工事監督に励み、昭和7年に門島～天龍峡は開通します。



昭和35年7区今村良夫さんの尽力により再び天竜峡を訪れ、各地で講演を行いました。



川路団員5名出演予定

団長：清水 勝弘